事例No.	2172
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	兵庫県尼崎市

事例区分	DX

タグ	・ICT

事例種類	キャッシュレス

事例内容・タイトル

電子地域通貨「あま咲きコイン」による市内経済の好循環とSDGs行動の推進

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

192 電子地域通貨「あま咲きコイン」による市内経済の好循環とSDGs行動の推進【兵庫県尼崎市】

事業の概要

○ 尼崎市では、令和2年度から市内加盟店で1ポイント1円で利用できる電子地域通貨「あま咲きコイン」を導入している。

○ 庁内において、様々な種類で発行していたポイントを統合し「あま咲きコイン」として市民のSDGs行動(約100メニュー)にポイントを付与。

○ チャージや買物時にプレミアムが付き、市内加盟店だけで使えるので、市外での消費を市内へと促すことにより市内経済の好循環につながっている。



○ また、物価高騰支援として「あま咲きコイン」で市内の子ども5万5千人に1万ポイントずつ給付。

○ さらに、販売促進、SDGsのPR、福利厚生のために、市内企業・商店街がポイント原資を負担して「あま咲きコイン」を発行できる制度を導入するなど、持続可能な地域通貨制度を目指している。

【参考情報①】 人口：46.3万人
関連URL：https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/siminsanka/1022002/index.html

【参考情報②】地方創生推進交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



SDGs行動を見える化する仕組みをつくり、市民一人ひとりの行動変容を促し、単に尼崎で暮らすだけでなく「まちのことを想い、活動する人」の増加を目指すこととしました。また、コロナ禍で停滞する市内経済の活性化を図ることが求められていました。

（尼崎市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



SDGs行動への「あま咲きコイン」付与をきっかけとして、市民一人ひとりの「まちの活動への参加意欲向上」「尼崎への誇り、愛着」を醸成するとともに、地域内経済の好循環も図るため内閣府の地方創生推進交付金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しています。



事業の近況を教えてください。



「あま咲きコイン」の発行額が年間約15億ポイント、加盟店数も約1000店となりました。今後は「あま咲きコイン」を事業者間取引(加盟店が仕入れに利用)や納税、市職員の福利厚生や表彰などの「多用途展開」に向けて検討を進めていく予定です。

★担当：尼崎市経済環境局経済部 地域産業課★

令和3年度事業費　379,569千円
（うち、地方創生推進交付金（内閣府）　4,705千円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）　359,433千円）